

女性用性ホルモン軟膏

バストミン

卵胞ホルモン剤

ご使用前にこの説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

「バストミン」は、有効成分に卵胞ホルモン（女性ホルモンの一種で、エストロゲンともいいます。）である、エチニルエストラジオールとエストラジオールを配合した医薬品です。

卵胞ホルモンは主に卵巣から分泌され、いわゆる「女性らしさ」や「潤い」をつかさどるホルモンです。ところが、加齢やストレスにともない卵巣の機能が衰えますと、卵胞ホルモンの分泌も低下します。

そして、閉経期やストレスで卵胞ホルモンの分泌が急激に低下しますと、ほてりや発汗が生じたり、神経質になってイライラする、あるいは冷感症や不感症になるなど、さまざまな不定愁訴が生じます。これが婦人更年期障害です。また、閉経後は卵胞ホルモンがほとんど分泌されないため、性器の萎縮が生じて、性生活が困難になります。

このようなとき、「バストミン」は、不足した卵胞ホルモンを皮膚から補充するクリームで、これらの諸症状の改善が期待できます。肝臓にやさしく、少量で卵胞ホルモンを補充できることが特徴です。

⚠ 使用上の注意

本剤の成分には実績のあるものを使用していますが、万が一お肌に合わないときは、ご使用にならないでください。本剤を初めてお使いになる方は、最初に必ず下記 1. (2) をお試しください、お肌に合うことをご確認ください。

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり副作用の起こりやすくなるおそれがあります）

1. 次の人は使用しないこと

- (1) 小児、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、授乳婦、皮膚過敏症の人。
- (2) ご使用前に本剤をチューブから 3 mm 程度出し、内股など皮膚のうすい所に塗り、翌日中に薬疹、発赤、かゆみ、腫れなどが現れる人。
- (3) 血栓症、子宮内膜症、心疾患・腎疾患のある人またはその既往歴のある人。
- (4) 乳房又は子宮に腫瘍がある人およびこれらのおそれがある人。
- (5) 家族あるいは本人に悪性腫瘍の病歴がある人。
- (6) 子宮筋腫のある人。
- (7) 糖尿病、高血圧症、肝機能障害のある人。
- (8) 塗る所に、外傷、炎症、化膿、湿疹などがある人。
- (9) 月経中や、性器不正出血中の人、おりものがある人。

2. 次の部位には使用しないこと

- (1) 目や目の周囲。
- (2) 外傷、炎症、湿疹、ただれ、化膿のひどい患部。

3. 本剤を使用している間は、同じ成分を含んだいずれの医薬品を使用しないこと

4. 内服用に使用しないこと

5. 本剤が出すぎた場合は、チューブに戻さないこと



相談すること

1. 次の人はご使用前に医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 現在、医師の治療を受けている人。
- (2) 薬や化粧品でアレルギー症状（発疹、発赤、かゆみ、かぶれ、腫れなど）を起こしたことがある人。
- (3) 本人又は家族がアレルギー体質の人。

2. 次の場合は、使用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症 状
皮膚（塗った所）	発赤、かゆみ、かぶれ、腫れ、薬疹
乳 房	痛み、張り

- (2) 生理の周期および月経血の様子が著しく変調した人。
- (3) 2～3 週間程度使用しても症状の改善がみられない人。
- (4) 誤った使い方をしてしまった人。

■ 有効成分と本質 ■

1 g中に次の有効成分を含んでいます。

有 効 成 分	1 g中	本 質
「日 局」エチニルエストラジオール	0.2mg	合成卵胞ホルモン
「局外規」エストラジオール	0.6mg	卵胞ホルモン

添加物として白色ワセリン、ステアリルアルコール、モノステアリン酸グリセリン、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油60、プロピレングリコール、メチルパラベン、プロピルパラベンを含有します。

■ 適 応 症 ■

婦人更年期障害、女性生殖器發育不全、無月経、月経困難症、月経周期異常、卵巢機能障害、不正子宮出血、乳汁分泌不全、不妊症、不感症、四肢冷感症。

【用語の解説】 婦人更年期障害： 加齢やストレスにともなう卵巢機能の衰えにより、女性ホルモンの分泌が衰えることから生じる、様々な自律神経の失調症状（のぼせ、ほてり、冷え、イライラなど）。

■ 用法及び用量 ■

適当量を局所に塗擦します。詳しくは下記をよくお読みください。

■ 詳しいご使用方法 ■

1. ご使用前に手指と塗る所を清浄にして、傷や湿疹などが無いことをご確認ください。入浴直後のご使用をおすすめ致します。
2. 1日1回（入浴後から就寝前）又は2回（朝と晩）、本剤をチューブ先端部から1cmほど指先に出し、腕や脚、腰などに広くのばして、すりこんでください。
3. 閉経前の方は、生理終了後から3週間ご使用いただき、その後1週間以上、ご使用をお休みください。また、ご使用期間中に生理が始まった場合には、直ちにご使用を中止して、生理終了後から再開してください。なお、不正出血の場合は、婦人科の医師にご相談ください。
4. 閉経後の方や生理不順で長く生理が無い方は（妊娠中はご使用になれません）、すぐご使用になれます。3週間ご使用後、1週間以上ご使用をお休みください。その際、人により閉経後であっても出血の始まる方がいらっしゃいますので、その場合はご使用を中止して1週間、様子を見てください。その間に不正出血が収まらない場合は、婦人科の医師にご相談ください。
5. 1週間以上ご使用をお休みいただいた後、軽快していた症状が再発する場合は、再び同様の方法でご使用ください。

■ 保管及び取扱い上の注意 ■

1. 直射日光を避け、湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
2. 小児の手の届かない所に保管してください。
3. 他の容器に入れかえないでください（誤用や品質が変わる原因になります）。
4. 使用期限を過ぎたものは使用しないでください。
5. 本剤のついた手で、目や粘膜に触れないでください。
6. 外用にのみ使用してください。

— お問い合わせ先 —

大東製薬工業株式会社 お客様相談室
☎ 0120-246-717

受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00
(土、日、祝祭日、弊社休業日を除く)

製造元 **大東製薬工業株式会社**
東京都豊島区南長崎4-36-13